

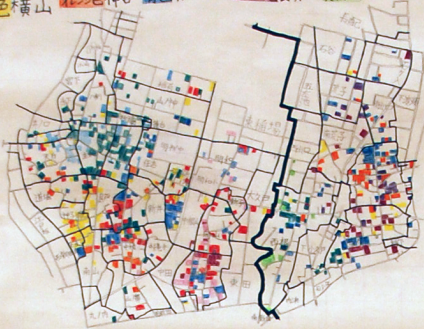
ぼくの町の名字調べ

1/2

6年加藤大稀

名字の色分け

- 赤色 磯村
- 緑色 深津
- 水色 江坂
- 桃色 沢田
- 茶色 峯名
- 黄色 横山
- オレンジ色 神谷
- 青色 杉浦
- 赤茶色 鈴木
- 黄緑色 呼柳



東端と根崎の多い名字ベスト3

東端

根崎

① 深津

① 杉浦

② 横山

② 神谷

③ 磯村

③ 鈴木

気づいた事

2/2

東端には、さんずいなど水に関係する字や言葉を使った名字が多いと思いました。深津 磯村の磯、沢田の沢、江坂の江、杉浦の浦、これは昔油ヶ淵がまだ海とつながっていたころ、この辺りは海辺の町だ、たので水に関係する字や言葉を使った名字が多いとぼくは思いました。

同じ名字が地域ごとにかたまっている。例えば横山は南山の小高い所に多く、沢田は殿町、深津と江坂は里と西尾しきに多くあります。また、根崎も、鈴木、杉浦、神谷がそれぞれ集まっています。ことが分かります。一族で移り住んで来たのか、明治いしんの時、国民の8割が名字を持っていなかった、たので国民全てが名字をつけ、戸せきをつくることになり、その時、近所どうして同じ名字を付けたのかもしれない。

東端にある宮下、小山、寺下という地名で宮下や寺下の辺りは坂やがけになっていて、とても土地が低いということに気がきました。そしてその坂などの上にはお宮さんやお寺があります。そしてお宮さんのある小山は少し土地が高いことに気がきました。地名はその土地の地形などに合わせてつけていると思いました。

名字の由来

- 横山—一訪江国(海智)の死。横山河内守頼信があり、織田信長に敗れて各地にひそんだ。
- 杉浦—三河が死。恒武平氏三浦氏の流れて、杉本義国が三浦と杉本の一文字づつをとった。
- 深津—源頼光五世光重が深津三郎を名乗ったのが死。三河国深津は藤原南家。愛知県に多い。
- 磯村—尾張国春日井郡水野死の豪族で織田信長に仕えた。
- 鈴木—紀州熊野死。古代神話伝説にも登場する大族。熊野水軍として海上で活躍したことから全国に広まった。
- 神谷—宇都宮氏族と、秀郷伊賀氏族がある。
- 峯名—三河や安城に多い。
- 呼柳—清和源氏山本義経の子孫で黒柳から呼柳に改めた。